

Red Hat で将来の可能性を切り拓く

中堅組織の IT 環境が持つ力と可能性を再定義する



目次

ビジネス運営を支えるデータ	3
組織が抱える課題.....	3
可能性の世界を切り拓く.....	3
強固な基盤を築く	4
効率的で効果的な IT の鍵は標準化.....	4
Red Hat でできること.....	4
Red Hat で IT 環境に秩序をもたらす.....	4
支出の削減、時間の節約、より効率的な運用.....	4
あらゆる未来に備える.....	5
自動化によって IT チームを定型業務から解放する	5
IT コンポーネントとタスクは人間の処理能力を超える速度で増殖する.....	5
Red Hat でできること.....	5
Red Hat の自動化および運用管理製品.....	6
クラウドのメリットを活用する	6
IT をオンデマンドで、いつでも、どこでも、必要な分だけ.....	6
Red Hat でできること.....	7
アプリケーションをモダナイズする	7
競争力を迅速に獲得する.....	7
Red Hat でできること.....	8
大量のデータ処理を軽量化する	9
信頼性の高い大量データを、必要な場所で必要なときに.....	9
Red Hat でできること.....	9
IT 環境とビジネスを保護する	9
多層防御でセキュリティを高める.....	9
Red Hat でできること.....	10
オープンソースでより多くのことを成し遂げる	11
オープンソースでより良いテクノロジーを作る.....	11
Red Hat の取り組み.....	11
世界をリードするオープンソース IT ソリューションのプロバイダー.....	11
Red Hat で始める	12

中規模企業の **97%** はテクノロジーがビジネスの成功にとって重要であると述べており、**98%** が IT インフラストラクチャのモダナイゼーションに投資しています。¹

Red Hat
ソリューションは、
お客様の
状況に合わせたニーズ
にお応えします。
また、お客様が望む
タイミングと方法で、
お客様の成長に
あわせて拡張していく
ことができます。
中堅組織向け
ソリューションの詳細を
ご覧ください。

ビジネス運営を支えるデータ

あらゆる業界の中堅組織が、データドリブンな組織へと生まれ変わりつつあります。

- ▶ 小売業者は、データを活用し、顧客をより詳細に把握することで、適切なタイミングで適切なサービスを提供し始めています。
- ▶ 金融機関は、信頼性の高いシステムを活用して資産を管理し、ますます厳しくなっている、さまざまな規制に対応しています。
- ▶ 医療提供者は、データを使用して患者ケアとその結果を改善しながら、コスト削減も実現しています。
- ▶ 製造業者は、不具合検出や、ロボティック・プロセス・オートメーション (RPA)、リーン・オペレーション・マネジメントなどに、データを有効活用しています。
- ▶ 公共部門の組織は、データを使用して不正、浪費、悪用を防ぐとともに、有権者により良いサービスを提供しています。

あらゆる業界の中堅組織が、データと分析によって成功を収めています。しかし、そこに至るまでにはさまざまな課題があります。

組織が抱える課題

従業員 500 人の組織でも 5,000 人の組織でも、その規模にかかわらず、次のような状況に身に覚えがあるのではないのでしょうか。

- ▶ データからリアルタイムに近い知見を得たいが、それを処理するために設計されたシステムがデータの量と速度に追いつかない。
- ▶ IT 環境が複雑になりすぎて、さまざまな機能がごちゃ混ぜになっているように感じる。可動パーツが多すぎて調整が難しい。うまく機能しない場合、ベンダー同士で責任のなすりあいになってしまうことが多い。
- ▶ IT の管理に時間がかかりすぎて、ビジネス改善の新しいアイデアを探り、実行に移す時間が十分に取れない。業務やビジネスの状況をリードするのではなく、常に後追いで対処しているように感じる。
- ▶ ビジネスのデジタル化と相互接続がますます進んでいる現状で、セキュリティとビジネス継続性に関する懸念を抱いている。世界最大で最も有名なオンライン・プラットフォームですらハッキングされる可能性がある世界で、どうすれば自社ビジネスを守れるのか。
- ▶ コンポーネントがオンデマンドでの通信や拡張に対応していないため、新しいアプリケーションやデータ機能の導入が困難である。IT 基盤は、より統合しやすく、将来に備えられるものでなければならない。

管理しなくてはならないことが、山のようにあります。守るべきものもまた、少なくありません。Red Hat はそのことを理解しています。お客様の IT 環境が IT 革新のどの段階にあるか、また、お客様が世界のどこで事業を行っているかを問わず、Red Hat は皆様を支援するために活動を続けています。

可能性の世界を切り拓く

Red Hat を使用すると、IT 環境をモダナイズして上記のような課題に対処し、ビジネスを革新することができます。アプリケーションを迅速かつスムーズに本稼働へと進める。適応性と安定性の両方を高める。絶え間ない変化に先んじる柔軟性を獲得しつつ、セキュリティを強化する。IT チームを日常的な管理タスクから解放し、貴重な時間を取り戻させる。

その状態に到達するのは、想像されるほど難しくはありません。

¹ Techaisle, Red Hat 後援。「Digital Transformation for Modern Midmarket: The Next Step in Business Success, Preparing the Channel to Profit from DX」、2018 年 9 月。

単純性は、
より効率的で
費用効果の高い
IT エコシステムを
実現するための鍵です。

信頼性が高く、
スケーラブルで、
より安全な基盤

Red Hat Enterprise
Linuxは、2003年以来、
世界をリードする
エンタープライズ Linux
プラットフォーム²
であり、フォーチュン
500 企業の 90% 以上
から信頼を得ています。²

環境をまるごと入れ替える必要はありません。Red Hat は、お客様の現状がどのようなものであれ、お客様がすでにお持ちの資産を起点に解決方法を考えます。過去に必要なものを保持しながら、現在必要なものを追加して、将来に備えることができます。Red Hat の仕事は、お客様の目標達成に対する障壁を取り除くことです。

お客様ご自身、お客様の部門、そしてお客様のビジネスをより迅速に前進させながら、成功に至る道のりを設計しましょう。

強固な基盤を築く

効率的で効果的な IT の鍵は標準化

IT 環境の設計、管理、運用に対する時代遅れのアプローチが、ビジネスの妨げになっていないでしょうか。インフラストラクチャが手に負えないほど複雑で、ブラックボックスのようになってはいませんか？

もしそうだとすると、そのような状況にあるのはお客様だけではありません。ほとんどの企業はオペレーティングシステムとそのバージョン、サーバーのハードウェア構成や、管理ツールなどをパッチワークのように組み合わせながら成長してきており、結果としてリソースが入り組んだ迷路のようになってしまっています。そのため多くの場合、相互運用性の問題、複雑な管理やプロセスを処理するために大勢の熟練した IT スタッフが必要となっています。そして、そのような状況から生じるのが、時間のかかるプロビジョニング、ダウンタイムの増加、セキュリティとコンプライアンスのギャップです。そうした環境では、ビジネスに必要なサービスを、求められる効率とスピードで提供できないこともあり得ます。

標準化された運用環境を整えることで、IT インフラストラクチャと運用を単純化およびモダナイズできるようにします。

理想は、定義済みの標準化されたコンポーネントや、インタフェース、プロセスを、自社で活用している全ての IT インフラストラクチャにわたり、共通で使用できるようにすることです。一貫性があり、単純化された IT インフラストラクチャなら、より簡単に管理、運用ができるようになります。標準化された一連の運用手順とプロセスでオペレーションを効率化し、より少ないスタッフでより大きなインフラストラクチャを管理できるようになります。

Red Hat でできること

Red Hat で IT 環境に秩序をもたらす

Red Hat は、親和性の高いオープンソースのコンポーネントで構成される統合プラットフォームを作成しました。それらのコンポーネントは、導入済みの既存のテクノロジーやプロセスとも、効果的に連携できます。

Red Hat はまず、現在では世界をリードするエンタープライズ Linux プラットフォームとなった **Red Hat® Enterprise Linux®** を市場に届け、OS の世界に革命を起こすことから事業を開始しました。³ 次に Red Hat は、クラウド・コンピューティングや、モダン・ソフトウェア戦略 (コンテナ、マイクロサービス) といった、先進的な技術に製品ポートフォリオを拡張してきました。これらはすべてセキュリティ機能を備え、自動化による管理にも対応しています。

Red Hat Enterprise Linux は、大企業だけのものではありません。魅力的なサブスクリプションモデルにより、あらゆる規模の組織にとって手頃な価格帯で提供しながら、コスト削減や新たな収益創出を加速させるための基盤としてご活用いただいています。

支出の削減、時間の節約、より効率的な運用

すべてのシステムが共通の基盤を共有していれば、システムは機能単位で個々に独立することなく、必要に応じて多様なサービスを提供できるようになります。また、IT リソースをインテリジェントに共有できるため、より少ないサーバーでより多くの作業を行えるようになります。

² Red Hat 顧客データとフォーチュン 500 リスト、2019 年。

³ IDC、「Worldwide Operating Systems and Subsystems Market Shares, 2018」、2019 年 11 月発行。

調査対象の中堅組織のうち **67%** が、すでに自動化を使用しているか、計画中、あるいはテスト段階にあります。⁴

Red Hat Enterprise Linux をあらゆるシステムの共通基盤として活用している組織は、サーバーの購入、そのサーバー用のソフトウェア、サーバーの保守、データセンターの電力、冷却、フロアスペースに費やす費用を削減できます。Red Hat を活用する組織は、日常的な IT タスクの実行、サポートコールの解決、計画外のダウンタイムからの回復、ビジネスアプリケーションのデプロイやアップグレードにかかる時間も短縮できます。さらに、新サービスをより迅速に提供できるようになるため、ビジネス上のメリットも得られます。

あらゆる未来に備える

Red Hat Enterprise Linux を基盤にすれば、サーバー (ベアメタル)、仮想マシン (VM)、およびクラウド環境で既存のアプリケーションを簡単にスケールアップし、新しいテクノロジーをロールアウトできます。コンテナから自動化、さらには人工知能に至るまで、Red Hat Enterprise Linux は、さまざまなイノベーターのために創られたオペレーションシステムです。また、開発者向けにデザインされ、運用向けにも大変使いやすく工夫されています。Red Hat Enterprise Linux で、将来の活躍を可能とするためのステージを、今日から整えていきましょう。

自動化によって IT チームを定型業務から解放する

IT コンポーネントとタスクは人間の処理能力を超える速度で増殖する

IT 運用チームは、複数のプラットフォームと複雑なテクノロジーレイヤーを使用して構築された、複雑な IT アーキテクチャを管理しています。また、レガシーな管理ツールには限界があります。そうした環境では個々のシステムを個別にコントロールする必要があり、プロプライエタリーな言語を使わなくてはならず、また、拡張性も高くありません。その結果、チームの時間とエネルギーの大半が手作業に費やされ、イノベーションや成長を妨げることとなります。

冗長で日常的なタスクは自動化しましょう。 自動化により、新しいアプリケーションとサービスの迅速なロールアウト、セキュリティとコンプライアンスのリスクの軽減、運用コストの削減を実現できます。さらに、IT スタッフと予算を、よりビジネス価値の高い業務に充てることができるようになります。

Red Hat でできること

Red Hat の自動化および運用管理製品ポートフォリオは、時間を奪われがちな日常タスクを、IT 運用チームに代わって処理します。既存の IT 環境がどの程度複雑であるかや、IT モダナイゼーションのどの段階にあるかにかかわらず、お客様それぞれに適した自動化戦略を用意しています。必要なコンポーネントを自由に選択し、お客様に適したペースで自動化を進めましょう。

- ▶ 時間、資金、リソースを解放する：自動化はお客様の既存の環境でも機能します。自動化を導入することで、時間、人員リソース、投資のそれぞれに対する投資対効果を向上することができます。
- ▶ 一貫性のメリットを活用する：自動化によって人的ミスリスクが軽減できます。さまざまなプロセスが、よりシンプルで、信頼性が高く、さらに精度が高いものになります。
- ▶ 先のことを考える余力が生まれる：自動化を行うと、すべてがより適切に、より迅速に実行されます。IT 環境が、さらに正確かつ自動的に動作してくれるため、安心して、より多くの時間を戦略的な業務に費やすことができるようになります。
- ▶ 変革をコントロールできる：自動化は、小さな 1 つのタスク、あるいはサービスからでも開始できます。それを他部門と共有したり、またそれをベースに、新たな自動化を追加していくことも可能です。一気に大きな変更を加えるのではなく、じっくりと自分のペースで、目標とするレベルの自動化を進めていくことが可能です。

⁴ IDC InfoBrief, Red Hat 後援。「アジア太平洋地域の中堅組織が直面している主要なインフラストラクチャの動向と決定」、2019年9月。

物理的なコンピュータ
からハイブリッド・
マルチクラウドまで、
Red Hat Enterprise
Linux がサポートする
あらゆる環境に
セキュリティを
提供します。

インフラストラクチャ
とアプリケーションを
クラウドで運用している
企業は、次の3つを
主要なメリットだと
報告しています：顧客
満足度の向上 (74%)、
運用効率の向上 (78%)、
よりスマートな
データを用いた
収益性向上 (99%)⁵

Red Hat OpenStack
Platform は、今日の
クラウドワークロードに
適した実証済みの
基盤を提供します。
また、ハイブリッド
クラウドやエッジ、
さらなる先進技術を
導入するための明確な
道筋を示します。

Red Hat の IT 自動化および運用管理製品

アプリケーションやインフラストラクチャのデプロイ、最適化、またセキュリティ強化には、市場での実績と信頼が高い Red Hat のオープンソース・テクノロジーが役立ちます。この分野の製品は次のとおりです。

- ▶ **Red Hat Ansible® Automation Platform**: 構成、プロビジョニング、ワークフローのオーケストレーション、アプリケーションのデプロイ、およびライフサイクル管理を自動化します。Ansible はエージェントレスなテクノロジーを使用しているため、管理対象のマシンのバックグラウンドでソフトウェアを実行する必要がなく、簡単に使い始めることができます。
- ▶ **Red Hat Insights** (Red Hat Enterprise Linux に付属): 継続的で詳細な分析を実行して、セキュリティ、コンプライアンス、および構成の問題を特定し、解決します。
- ▶ **Red Hat Satellite**: 物理環境、仮想環境、クラウド環境で Red Hat インフラストラクチャをきわめて容易に管理できます。適切なセキュリティを備え、標準に準拠して、システムの効率的な実行を保持します。
- ▶ **Red Hat Smart Management**: Red Hat Satellite の強力なインフラストラクチャ管理機能と、Red Hat Insights による修復プランの実行機能が組み合わされたサブスクリプションです。

クラウドのメリットを活用する

IT をオンデマンドで活用する: いつでも、どこでも、必要な分だけ

クラウド・コンピューティング とは、クラウド内でワークロードを実行する行為を指します。クラウドとは、ネットワーク上でリソースをプールし、共有する IT 環境のことです。クラウドの種類には次のようなものがあります。

- ▶ 組織内にあり、その組織だけにサービスを提供するもの (プライベートクラウド)
- ▶ 組織外にあり、他のテナントにもサービスを提供するもの (パブリッククラウド)
- ▶ 複数のクラウドで構成されており、相互にある程度接続しているもの (ハイブリッドクラウド)
- ▶ パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせたもの (マルチクラウド)。なお、クラウド同士はネットワークで接続されているケースと、接続されていないケースがある

クラウドテクノロジーを活用すると、ビジネスのニーズに沿って IT インフラストラクチャを拡張したり、縮小したりすることができます。

たとえば、オンラインショップの場合、普段は、平均的な日常業務に対応できる程度の、オンプレミスの IT インフラストラクチャを保有しておく。そして、休日やセールなどのピーク時には、必要な分だけ、一時的にパブリッククラウドを利用するといった運用方法 (クラウドバースティング) も可能です。こうすることで、自社のデータセンターに余分なリソースを抱え込むことなく、より大きな要求に対応することができます。

多くの中堅組織はクラウド・コンピューティングを利用していますが、プロプライエタリー・テクノロジーに基づくスタンドアロンのクラウドは理想的なソリューションとは言えません。そのようなクラウドは、他のクラウドとの相互運用の妨げとなるからです。**ハイブリッドクラウド**は、複数のクラウド同士を接続し、ワークロードをクラウド間で移動できるようにし、統一されたエクスペリエンスを作り上げます。

共通の基盤を使用すると、クラウドのデプロイが迅速化し、より信頼性が高く、より効率的になります。

⁵ IDG Research Services、「Enterprise cloud computing unlocks deep strategic value through increased business agility」、Accenture および AWS 後援。2020年7月にアクセス。

組織は、ますます多様化する IT 環境全体で、新しいアプリケーション、機能、およびサービスをより迅速に提供しなければならないという重圧に常にさらされています。

Linux コンテナはオープンソース・テクノロジーをベースにしているため、最新の技術が利用可能になるとすぐにそのメリットを得られます。

Red Hat ができること

Red Hat のオープンソース・テクノロジーは、あらゆる形態のクラウド環境に対して、一貫した基盤を提供します。Red Hat の標準オペレーティングシステムは、どの環境でも同じように機能します。Red Hat のコンテナプラットフォームはアプリケーションをパッケージ化し、クラウド間で移動できるようにします。また、Red Hat のツールを使用すると、プライベートクラウド内、または複数のプライベートクラウドとパブリッククラウド間でアプリケーションをすべて管理し、自動化することもできるようになります。

この分野の製品は次のとおりです。

- ▶ **Red Hat Enterprise Linux**: クラウドのための柔軟で安定した基盤を提供します。ベアメタル (従来のシングルテナントサーバー) へのデプロイ、複数の仮想マシンへの分散、モジュール式のソフトウェア・コンテナへのデプロイ、いずれの形態にも対応可能です。Red Hat Enterprise Linux は数百のパブリッククラウドおよびサービスプロバイダーによる認定を受けており、安心感のあるクラウド移行をサポートします。
- ▶ **Red Hat OpenStack® Platform**: Red Hat Enterprise Linux と共同開発されたクラウド・コンピューティング・プラットフォームです。業界標準のハードウェアからリソースを仮想化し、クラウドの構築と管理を行えるようにします。ユーザーが必要なときに、必要なリソースへ、どこからでもアクセスできるようになります。

Red Hat において、クラウドの概念はクラウド製品だけに組み込まれるものではありません。Red Hat が提供しているインフラストラクチャの管理と監視、ストレージ、およびミドルウェアの製品もすべて、クラウド・コンピューティングをサポートするように設計されています。そのため、Red Hat 製品を使えば、現在所有しているツールも、将来の新しいアプリケーションも、いつでもクラウド環境で最大限に活用できるようになります。

クラウドアプローチを活用してビジネスを改善したいものの、どのように進めるのがベストかわからないというお客様には、当社の経験豊富なチームがプラン策定をお手伝いします。お客様の現状や、目指す姿に応じて、お客様に適したロードマップの設計を支援いたします。

OpenStack 認定パートナーの広範なエコシステム (数百のソフトウェア、ハードウェア、およびサービスベンダー) が提供する製品やサービスを活用できるようになるため、さらに将来のビジネスの可能性も広がります。

アプリケーションをモダナイズする

競争力を迅速に獲得する

他社と競い、勝ち抜いていくために、ビジネスでは次のようなデジタルアプリケーションが利用されています。

- ▶ **運用ソフトウェア**: 調達、人事、カスタマーエクスペリエンス、その他のビジネス機能を管理する
- ▶ **ビジネスインテリジェンス**: 大量のデータを知見に変換して健全なビジネス上の意思決定を行う
- ▶ **予測分析**: 将来を見据えた意思決定を導くためのクエリを実行し、回答を得る
- ▶ **データの視覚化**: データをイメージに変換し、直感的で視覚的なストーリーでパターンと傾向を示す
- ▶ **機械学習**: アプリケーションがデータから学習し、新しい情報を導き出す

このようなアプリケーションやサービスを、必要なときにすばやく実行し、いつでも新しく展開できるようにする必要があります。たとえば、新しいモバイルバンキング機能、オンラインショッピングを改善するためのツール、セルフサービスのパフォーマンス・ダッシュボードなど、どのようなものであれユーザーや顧客が求めるものを迅速に提供する必要があります。

データプラットフォームは、組織がデータを活用する能力に大きな影響を与えます。それは、タイムリーな意思決定や、重要な指標のトラッキングだけでなく、お客様への製品・サービス提供に対しても影響します。

調査対象のミッドマーケット組織のうち **70%** が、IT 関連で最優先の取り組みとして、ビッグデータ分析を挙げています。⁷

Red Hat ソリューションは、お客様が選択した業界標準のハードウェアと、デプロイメント環境 (ベアメタル、仮想化、またはクラウド) に、ソフトウェア・デファインド・ストレージを提供します。

顧客はどの企業からも常に最先端のものを提供されることを期待します。ユーザーはセキュリティと、どこからでも利用可能なセルフサービスでのアクセスを必要とします。そして、これらはいずれも、複数のソースから信頼できるデータを提供する必要があります。ますます多様化し、絡み合っていく IT 環境で、どうすればこれらの要件を満たすことができるでしょうか。

アプリケーションのモダナイゼーションを成功させるための鍵は、次の 2 つです。

- ▶ **標準化された運用環境**: 標準化により、さまざまなサービス基盤を統合することができます。オペレーティングシステム、データ、アプリケーション開発は、データセンターやクラウドにわたり連携でき、かつ、運用できるようになります。また、複雑なレガシー・アーキテクチャと比較して、簡単に新しいアプリケーションを提供開始できるようになります。
- ▶ **コンテナ**: アプリケーションを、そのランタイム環境全体 (実行に必要なすべてのファイル) や、必要なモジュールとともにパッケージ化したものがコンテナです。コンテナを活用することで、複雑なアプリケーションの全体を1台のマシンだけで一元的に実行する必要がなくなります。個々のアプリケーションは、それぞれが独立して進化および拡張できるモジュールとして、取り扱えるようになります。

コンテナの急速な普及には、理由があります。コンテナを使用することでアプリケーション開発のライフサイクルは 66% 迅速化し、IT スタッフに要求される時間は 35% 短縮されます。⁶ インフラストラクチャと開発プラットフォームのコストは、1つのアプリケーションにつき平均 38% 削減されます。⁶

Red Hat でできること

Red Hat は、コンテナのポテンシャルを理解しています。また、コンテナの構築、実行方法を標準化することの重要性も理解しています。Red Hat では、コンテナを最大活用するために必要なすべてのものを取り揃えています。この分野の製品は次のとおりです。

- ▶ **Red Hat OpenShift® Container Platform**: Red Hat Enterprise Linux をベースにしたこの製品は、コンテナ・アプリケーション・ライフサイクルを自動化したり、コンテナパイプラインにセキュリティを組み込むことができます。また **DevOps** (開発者および IT 運用) チームが活用しやすいように設計された製品です。
- ▶ 上記のオプション・コンポーネント: ビジネス上の意思決定を自動化する **Red Hat Decision Manager** や、IT エキスパートからビジネスユーザーまでさまざまなタイプのプロフェッショナルによる共同開発を可能にする **Red Hat Fuse** などがあります。
- ▶ **Red Hat のコンテナカタログ**: 数百もの認定済みコンテナイメージ、言語ランタイム、データベースを活用できるようにしたコンテナカタログを用意しています。また、Red Hat Enterprise Linux の稼働環境ならどこからでも、必要なミドルウェアにアクセスできます。
- ▶ **オンライントレーニング・クラス**: コンテナの概念とコンテナ・オーケストレーション・テクノロジーに関する技術スキルを身に付けることができます。

現在どのようなプロセスやプラットフォームでアプリケーション開発を行い、どのような形でコンテナ活用を目指しているのかにかかわらず、Red Hat がその状況や目的に応じた支援を提供いたします。

⁶ Carvalho, Larry, および Marden, Matthew, 「Red Hat OpenShift のビジネス価値」、IDC、2017 年 10 月。

⁷ Techaisle, Red Hat 後援。「Digital Transformation for Modern Midmarket: The Next Step in Business Success, Preparing the Channel to Profit from DX」、2018 年 9 月。

アプリケーション開発と
データサイエンスの間の
ギャップを埋め、
データについてより
深い洞察を得ることで、
業務拡大や、市場参入
スピードの向上を
実現しましょう。

調査対象の
ミッドマーケット組織の
うち **48%** が、
運用環境に関する
最大の懸念事項として、
セキュリティを
挙げています。⁸

後付けのセキュリティ
ではなく、開発および
インフラストラクチャの
ライフサイクルの
あらゆるレイヤーに
組み込まれている
セキュリティを
活用しましょう。

大量のデータ処理を軽量化する

信頼性の高い大量データを、必要な場所で必要なときに

先進的なビジネスには、運用や分析のワークロードで大量のデータを処理する強固なデータプラットフォームが必要です。ビジネスのデジタル化が進んでいくにつれ、データ管理はメリットにもデメリットにもなり得ます。競争の激しい業界では、各社が使用しているアプリケーションやサービスに大きな差がなければ、勝利をつかむのは最高のデータ管理プラットフォームを備えた企業です。

しかし、多くの組織では、データはさまざまなシステムに存在し、特定の開発言語、オペレーティングシステム、またはデプロイメントモデル（クラウド、仮想、またはオンプレミス）に縛りつけられていることがよくあります。

ですからビジネスリーダーと IT リーダーは、データプロセスを効率化し、データ環境の標準化、一貫したプラットフォームへのデータベースサーバーの集約、ライセンスコストの削減、データとそれをサポートするインフラストラクチャの可視性の向上を実現したいと考えています。

Red Hat でできること

Red Hat のオープンで安定したデータベース・ソリューションは、データを安定的に保存してセキュリティで保護し、いつでも利用できるようにして、ビジネスの効率化と成長の加速を支援します。この分野の製品は次のとおりです。

- ▶ **Red Hat Enterprise Linux for Microsoft SQL Server**: データベースシステムを集約して、高速で信頼性が高く、より安全なデータアクセスを提供できます。このプラットフォームは、複数の IT 環境（オンプレミスや、クラウド）でも効率的に動作でき、ミッションクリティカルなデータ活用の要求にも対応できます。
- ▶ **Red Hat Smart Management**: Red Hat Satellite のインフラストラクチャ管理機能と Red Hat Insights の監視と分析を、1 つのサブスクリプションにまとめたものです。物理マシンからハイブリッドクラウドに至るまで、Red Hat Enterprise Linux がサポートするあらゆるストレージ環境にセキュリティを提供します。

Red Hat OpenShift Container Platform には、ソフトウェア・デファインド・ストレージ機能が含まれています。ソフトウェア・デファインド・ストレージは、個別に動作する物理的なストレージデバイスと比べて、複数のマシン上の仮想ストレージ・ロケーションにわたりデータ管理でき、コスト効率が高いです。

- ▶ **Red Hat OpenShift Container Storage**: コンテナアプリケーション向けのデータおよびストレージサービス・プラットフォームを提供し、Red Hat OpenShift が稼働するすべての場所で利用できます。
- ▶ **Red Hat Gluster® Storage**: 分析やバックアップ、システム復旧などの、汎用的なワークロードを処理します。
- ▶ **Red Hat Ceph® Storage**: 高度な分析、メディアリポジトリ、人工知能 (AI) などのモダンなデータパイプラインに適した、オープンで非常にスケーラブルなストレージ・ソリューションです。

IT 環境とビジネスを保護する

多層防御でセキュリティを高める

セキュリティは機能やアドオンではありません。一度設定すればそれで終わりというものでもありません。セキュリティは包括的なものでなくてはならず、設計の段階から IT 環境に組み込んでおく必要があります。そして、規制の変化に伴い継続的に進化していく必要があります。

⁸ Techaisle, Red Hat 後援。「Digital Transformation for Modern Midmarket: The Next Step in Business Success, Preparing the Channel to Profit from DX.」、2018 年 9 月。

オープンソース・コミュニティに結集した人材とイノベーションを活用することによって、当社はより優れ、強力で、革新的なソフトウェアを生み出しています。

コミュニティがサポートする無料のソフトウェアではなく、Red Hat のサブスクリプション・ソフトウェアを使用する企業は、100 ユーザーあたり 17,195 ドルの利益を獲得しています。⁹

市場での実績と信頼のあるリーダーに頼るフォーチュン 500 企業の 90% 以上が、Red Hat を活用しています。¹⁰ その仲間入りをしませんか？

それでは、限られたリソースしか持たない組織が、複雑化していく一方の IT 環境全体にセキュリティを適用するにはどうすればよいのでしょうか。脅威は今後もますます高度化していくと思われませんが、どうすれば IT 環境の防御を強化して侵害に対抗できるでしょうか。

効果的なセキュリティ戦略を策定するには、まず各アプリケーションとデータの価値、それらを使用する必要がある人、不正使用の潜在的な影響を評価することから始めます。それを理解して初めて、リスクとアクセス性のバランスのとれたセキュリティ・プラットフォームを定義できます。そのようなプラットフォームがあれば、正当なユーザーの活動を妨げることなく、デジタルアセットをより安全に保つことができます。

先進的なセキュリティには、一元化された ID 管理システムでアクセス制御するような、表面的な防御だけでは足りません。セキュリティは、IT インフラストラクチャのすべてのレイヤーと、IT 開発プロセスのすべてのステージに組み込まれていなければなりません。標準化された運用環境では、このようなレベルのセキュリティを実現することもシンプルになります。その鍵は、以下の 3 つの要素となります。

- ▶ インフラストラクチャ・スタックの複数レイヤーを横断してセキュリティ対策を統合する。
- ▶ 標準化により、管理するシステムのバリエーションを少なくし、IT 環境をより細かく制御できるようにする。
- ▶ 効率的なプロセスを確立し、常に最新のセキュリティアップデートで、システムを最新の状態に保てるようにする。

Red Hat ができること

Red Hat のすべての製品やサービスには、セキュリティ機能が組み込まれています。Red Hat のセキュリティは、開発ライフサイクルのすべてのフェーズに統合することができます。また、アプリケーションのデザインや設計フェーズから、実行、管理フェーズ、さらに、新たな脅威が発生した際の適応に至るまで、あらゆるフェーズに組み込むことが可能です。この分野の製品は次のとおりです。

- ▶ **Red Hat Enterprise Linux**: FIPS 140-2 および Common Criteria の認定を取得済みです。Security-Enhanced Linux (SELinux) や強制アクセス制御 (MAC) などのセキュリティ機能が組み込まれており、悪意のある行為を排除し、規制に適合します。SELinux は、Red Hat Enterprise Linux で実行される次のような他のプラットフォームもセキュリティで保護します。
- ▶ **Red Hat Virtualization**: VM (仮想マシン) のアクションを制御します。
- ▶ **Red Hat OpenStack Platform**: クラウドのデプロイメントにセキュリティと安定性を提供します。
- ▶ **Red Hat OpenShift Container Platform**: コンテナを分離し、そのリソースを制御します。
- ▶ Red Hat の自動化および管理製品は、継続的に脅威を監視します。
- ▶ **Red Hat Ansible Automation Platform**: Windows および Linux エンドポイントの脆弱性を調査し、システムに最新のセキュリティアップデートを、自動的に確実に適用します。
- ▶ **Red Hat Insights** (Red Hat Enterprise Linux に付属): セキュリティリスクをリアルタイムで自動的に分析し、注意が必要な問題のアラートを送信します。
- ▶ **Red Hat Satellite**: システムとセキュリティ設定に侵害の兆候がないかを調査します。Satellite は、米国立標準技術研究所 (NIST) の OpenSCAP だけでなく、クレジットカード業界 (PCI) や米国家安全保障局 (NSA) などのより厳しい基準も満たしています。
- ▶ **Red Hat Directory Server** や **Red Hat Certificate System** などの Red Hat の ID およびアクセス管理製品: アプリケーション設定、信頼性の高いユーザープロファイル、グループデータ、ポリシー、アクセス制御情報などを管理します。

⁹ IDC、「The Business Value of Red Hat Solutions and Cost Relationship to Unpaid Alternatives」、2019 年 7 月。

¹⁰ Red Hat 顧客データとフォーチュン 500 リスト、2019 年。

Red Hatは、あらゆる規模のお客様の事業を支援するために活動しています。トレーニング、サポート、コンサルティングサービスにより、社内にセキュリティに関する専門知識を蓄積いただくサポートもしています。また、お客様が新しく発覚したリスクにも適切に対処できるように、プロアクティブなセキュリティ・アドバイザーと迅速なアップデートを提供しています (多くの場合は同日に)。新しいリスクにも適切に対処できます。

オープンソースでより多くのことを成し遂げる

オープンソースで優れたテクノロジーを創り出す

Red Hat では独自の開発モデルに基づき、コミュニティが作成したオープンソース・ソフトウェアをベースとして、各プロジェクトのセキュリティ強化、問題解決、機能追加を行っています。また、ソフトウェアを無料で提供しており、ソースコードも公開しています。そして、Red Hat で行った機能改善を各プロジェクトへと還元することで、オープンソース・コミュニティ全体にも利益をもたらします。

Red Hat のやり方

20 年前、当社は IT リーダー、オープンソースの支持者、開発者、およびパートナーと共同で、IT の未来のためのより良い基盤、すなわち、Red Hat Enterprise Linux を作りました。現在も、その当時と変わらず、オープンで、コラボレーティブなビジネスモデルを使いながら、予想がつきやすく手ごろな価格のサブスクリプションにて、より包括的な製品やサービスのポートフォリオを提供しています。

[Red Hat サブスクリプション](#)を購入したお客様は次のことができます。

- ▶ サポートされているバージョンの Red Hat ソフトウェアをダウンロード
- ▶ 拡大し続ける豊富なオンラインのナレッジベースから学べる
- ▶ Red Hat ソフトウェアを使用するためのサポートとアドバイスを得る (ビジネスクリティカルな環境でも可能)
- ▶ 常に最新バージョンの Red Hat ソフトウェアを入手できる

Red Hat サブスクリプションを利用すると、不要な不安材料を取り除き、イノベーションを起こすための余力を多く残した状態で、自由にビジネスを前進させることができるようになります。

世界をリードするオープンソース IT ソリューションのプロバイダー

Red Hat は、世界最大のオープンソース企業です。¹¹ 当社は、より安定し、安全で、革新的なテクノロジーを実現するオープン開発モデルに引き続き取り組んでいます。

[Red Hat とオープンソース](#)のページで、どれだけお客様の将来の可能性を大きく広げられるのかについてご確認ください。

11 [Red Hat のオープンソース解説ページ](#)、2020 年 7 月にアクセス。

Red Hat で始める

中堅組織向けソリューションの詳細をご覧ください、Red Hat にご相談ください。



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

0120 266 086
03 5798 8510

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#F24645_0720

Copyright © 2020 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ, OpenShift, Ansible, Ceph, および Gluster は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。OpenStack® ワードマークと Square O Design は個別に、または一体として米国とその他の国における OpenStack Foundation の商標または登録商標であり、OpenStack Foundation の許諾の下に使用されています。Red Hat は、OpenStack Foundation と OpenStack コミュニティのいずれにも所属しておらず、公認や出資も受けていません。